

# 『DIMS通信』

さあ、歩きたくなる  
＜宿場町＞富谷市へ

Vol.8-1

2021.05.13



## ノスタルジックな雰囲気も感じられる富谷宿



弊社の位置する富谷市は2020(令和2)年は、政宗公の命により1620(元和6)年9月に「奥州街道富谷宿」が開宿して400年目でした。街道の形や道幅が当時と変わらないと言われる富谷市新町(しんまち)地区。国道4号線から奥州街道富谷宿に入ります。



知らない街を歩いてみたい、ど〜こ〜か遠くへ行き〜た〜い〜  
今回は宮城県の奥州街道の宿場町、富谷の新町をてくてくてく。  
宿場町は仙台ー七北田ー富谷ー吉岡と続きます。  
五街道とは、江戸時代に徳川家康が全国支配のために江戸日本橋から各地を結ぶ5つの街道を整備したのが始まりで、総延長は約1575kmにも達します。

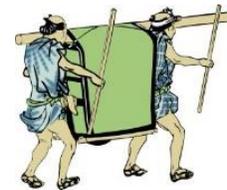


その一つである奥州道中は江戸日本橋を起点として、下野国宇都宮(現在の栃木県宇都宮市)までは日光街道と共用し、その先の陸羽街道・仙台道・松前道・外の浜道が奥州街道と呼ばれていました。

奥州街道の各所には宿場が設けられ、1601年(慶長5年)に仙台藩主伊達政宗が仙台城や城下町の建設を始めると奥州街道は仙台城下町を通る事になり、仙台以北から現・大和町の吉岡宿までの距離が遠くなった事から、伊達政宗の命によって新たに富谷新町宿を開設する事が決まり、奥州街道72番目の宿場町として発足したのが始まりです。



[しんまちめぐりの案内地図です。](#)  
[おすすめの散策コースも表記されています。](#)



宿場町である富谷宿を開設した際に、現在地よりも東側にあった熊野神社を伊達政宗の命によって宿場町への入り口に移設したとされているため、本来の宿場町への入り口はこちら側であったとされています。

神社であるのに鐘突き堂がある事を不思議に感じたのですが、熊野信仰は神と仏を一体と捉える神仏習合信仰が成立しているのです、このような形になっているそうです。

この続きは来月号で(^▽^)/

お楽しみに！！

編集部  
佐藤 美香